



平成26年1月発行  
新春号みどり

新年あけましておめでとうございます

理事長・院長 太田 正幸

旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年はお陰様で、新館（5号館）の建築を無事に終了し、5-1病棟を精神科急性期病棟として申請することができました。また、兵庫県では2台目となる「光トポグラフィ」を導入し、うつ病、双極性障害、統合失調症のより精密な診断が可能となりました。MRIも導入しました。これにより、認知症の中でも最も多いアルツハイマー型認知症の確定診断が可能となり、2番目に多い血管性認知症の確定診断も可能となりました。これら2種類の導入にて、既存のCTとあわせて、1月より主に、認知症の早期発見とうつ病の早期発見を目的とした「心のドック」を開始いたします。

うつ病はよくなる病気です・特に早期発見すれば、治療の効果があがります。認知症は残念ながらよくなる薬は開発途上ですが、現在は進行を遅らす薬はあり、早期発見により、何年も在宅での療養が可能です。



平成26年1月14日（火）  
スタート！

本院の心のドックは脳外科の脳ドックと違って、認知症とうつ病の早期発見を目的としています。認知症には様々な疾患がありますが、2大認知症として知られる、①アルツハイマー型認知症、②血管性認知症の鑑別診断がより精密にMRIにより早期発見が可能です。早期発見すれば、よくなる薬は現在開発中ですが、進行を遅らせる薬は両者ともにあり、何年も在宅で療養できる方が数多くいらっしゃいます。

うつ病は実は全年代の中で、65才以上の高齢者に最も多い病気です。歳を重ねると、大事な方々との別れ、体力のおとろえ等ストレスがかかりやすいのが原因の一つですが、うつ病はほぼ全員の方が良くなる病気です。しかし高齢者の方々のうつ病は認知症と病状がよく似ており、誤診される場合が多いのです。「光トポグラフィ」はうつ病などの鑑別診断に有効であり、ほぼ全員の方が良くなります。

例えうつ病と認知症が合併していても、うつ病が良くなれば、毎日の生活の質の向上につながります。

# 院内研修会

## 院内感染対策研修会

平成25年7月29日(火)、11月19日(火)

講師をお招きしての全職員対象とした講習会でした。一生の内に受けるワクチン接種と院内感染に重要とされるワクチン接種を題材とした内容で、インフルエンザ等の毎年流行するウイルスなど、事細かな内容を時間の許す限りご講義頂きました。患者様と直接現場で接する事の多い看護職員にとって感染症は特に関係の深い内容でもあります。メモを取りながら職員一同、今後にも活かす為に真剣な面持ちで知識を取り入れていました。しっかりと予防に取り組み、適切な対応に努めて参りたいと思います。



## 医療安全研修会

平成25年9月18日(水)

当院での転倒骨折の実態と分析、認知症病棟での歩行練習の効果について問題点と今後の課題、ケアのあり方等が報告されました。また、輸液類の取り扱いについて、実物を手に包装の種類や役割、インジケータの破損・異常の見分け方、薬剤の保管方法などの説明、容器への油性ペンの利用など、職員が熱心に聞き入る姿が見受けられました。MRI検査についても、特に金属の取り扱いに対する注意事項は、質問も多く出て、まもなく導入が開始される検査に適切な対応が行えるようにと、事細かに説明がなされました。



## 精神保健福祉法について

平成25年12月26日(木)

精神保健福祉法の成り立ち、あり方、背景、精神保健指定医と入院形態の解説等から、拘束のありかたについて等、時間の許す限り解説されました。患者様の人権、精神保健指定医でなければできない事、任意入院・医療保護入院・応急入院・措置入院・緊急措置入院等の各形態の違い、そしてそれらの問題点等、様々な角度から日頃の業務を再認識する研修会でした。



## 当院であった様々なイベント

第22回ふれあいバザー

平成25年5月28日 太田正氣記念館にて

外は小雨がちらつく事もあり生憎とスッキリとしない天気でしたが、ご家族様から多くの商品を寄付して頂いたり、患者様コーナーでは職員と一緒に協力したりと、開催場は患者様にご家族様に来賓の方に職員達にと、熱気いっぱいの大盛況でした。「ふれあい」という名の通り、様々な人と人とのコミュニケーションを通じて、新鮮で有意義な時間を患者様方にも過ごして頂けた様子で、カメラを向けた先々で本当に多くの喜ぶ姿が見て取れ、明るい言葉も耳にしました。たった一日の短い時間ではありましたが、参加された皆様には本当に心の癒しになって頂けたようで、次回も非常に期待が持たれており、スタッフ一同今後も力を入れて取り組んでいきたいと思えます。

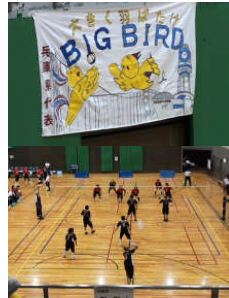


第13回全国障害者スポーツ大会 近畿地区予選会  
精神障害者団体競技（バレーボール競技）の部

平成25年6月1日  
堺市立金岡公園体育館にて

都道府県持ち回りで行われる国体終了後に国体の開催県で行われる障害者スポーツの全国的な祭典である今大会の、精神障害者団体競技バレーボールの部、近畿ブロック地区予選会に当院から参加しました。

一回戦目の対戦相手である大阪府のデイケアチームは、今回優勝を果たした強豪であり、当院のデイケアチームも職員共々、全力で臨んだものの力及ばず残念ながら0-2で敗退しました。しかし、日々の練習、本番の試合、仲間との様々な経験と「何か新しい事に挑戦しよう」と意欲的な空気が流れ、チーム全員にとって非常に良い経験になりました。



O T 運動会

平成25年11月8日 太田正氣記念館にて

今回も各病棟の患者様が非常に楽しみにされていた運動会を開催致しました。紅組と白組に分かれ、玉入れや風船運び、体育館内を一周する障害物リレー等、様々な競技が用意され、普段とは違ったイベント行事に皆様本当に楽しそうに、そして白熱し夢中になって、参加されていました。普段はあまり表情を出されない方も、この日ばかりは笑顔がこぼれたり、充実して頂けた事と思えます。次回もまた、皆が心から楽しめる様に目指したいと思います。



土山祭

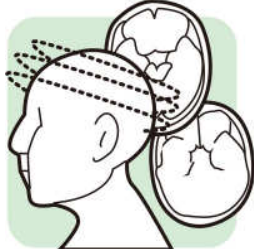
平成25年11月19日 太田正氣記念館にて

春に行ったふれあいバザーで好評だったバザーを今回も同様に行い、輪投げや射的といった縁日を意識した遊びの場も用意されました。喫茶コーナーでは普段の食事とは違った場でのひと時に、利用された方も会話も飛び交い非常に楽しまれていました。春と比べて混雑する事もなく、参加された方々も比較的ゆったりと過ごされ、良い息抜きになったのではと思います。



## 「心のドック」で行う検査

## 最新機器を使用した鑑別診断



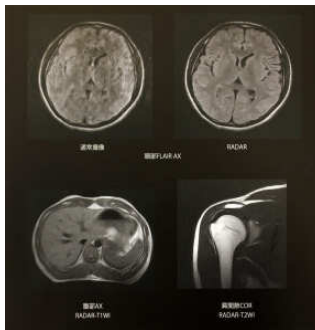
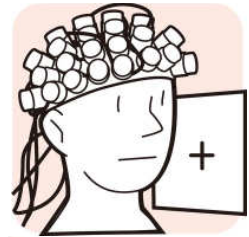
### MRI検査

磁力(磁石)を利用して体内を画像として写し出す装置を使った精密検査で、得られる情報が多く、脳梗塞などの病気の検査などをはじめ多様な範囲で利用されます。当院で使用するMRIは開放型ですので圧迫感がなく、閉鎖空間が苦手な方でも安心です。心のドックでは、認知症の鑑別判断に期待されています。

### 光トポグラフィ検査

光トポグラフィ装置と呼ばれる機器を使い、頭部の血流の変化を測定することで、今まで判断が難しかった、うつ病・統合失調症・双極性障害などの病気を可視化して検査するものです。

兵庫県下でも導入している病院はまだ非常に少なく、当院の心のドックでも、うつ病の早期発見に大いに役立つ事と思われま



光トポグラフィ



### 心理テスト

当院のドックが一般的な脳ドックと異なり、精神科の為の「心」をメインとしたドックである事の特徴の一つとして、臨床心理士の先生方の心理テストによる検査があります。機器のみではなく双方色々な角度から調べます。この3つを行うのが当院の新しい検査です。

### 検査料など

35,000円(会員割引:2回目以降32,000円)

検査を毎年など定期的に行われる方の為に「心のドック」会員も同時に募集しています。会員になられた方には2回目以降の検査料金が32,000円と、3,000円お得になります。入会料が必要なのですが、現在は心のドックの開始を祝って無料にて提供しています。

**当院の心のドックを、これからもどうぞ宜しくお願い致します。**



〒974-0074  
兵庫県明石市魚住町清水2744-30

TEL:078-942-1021  
FAX:078-941-1573  
E-mail:info@athp.jp

### 基本理念

『人間愛に満ちた医療と愛情こもる看護・介護』



医療法人社団 正仁会

明石土山病院・介護老人保健施設 希望  
つちやま訪問看護ステーション・宿泊型自立訓練事業所 みどり寮  
共同生活援助事業所 グループホーム ノア

ホームページも是非ご覧下さい  
PCサイト・スマートフォン  
<http://www.athp.jp/>  
携帯サイト <http://www.athp.jp/i/>

